




中心市街地活性化 好取組事例



目標類型別分類(経済活力の向上)

| | | | | | |
|------|--|-----|--|-----|-----------------|
| 市町村名 | 弘前市(青森県)【平成20年7月9日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | | 177,549人 |
| 計画期間 | 平成20年7月 ~ 平成26年3月 | | | | |
| 目標指標 | 中心商店街空き店舗率 | | | | |
| 基準値 | 13.7% (平成18年) | 目標値 | 8.5% (平成25年) | 実績値 | 8.5% (平成25年) |
| 取組概要 | <p>○計画区域内の空き店舗に新たに小売・サービス業の店舗を出店する事業者に対し店舗改修費等の補助を実施し、空き店舗の利活用の促進を図った。</p> <p>○商店街振興組合等と連携し、空き店舗情報を収集してポータルサイトを活用した情報提供を行い、情報の集約や地権者と利用・取得希望者のマッチングの支援や、専門家を活用した空き店舗への魅力ある業種・業態の誘致、県の融資を活用して開業する者に対して、市が保証料や利子の一部を補助する支援を実施した。</p> <p>○上記施策を中心市街地活性化協議会や関係各団体と密に連携しながら一体的に推進した結果、中心市街地の空き店舗率は大幅に改善され、中心市街地の賑わい創出に繋がった。</p> | | | | |
| |  | |  | | |
| | <p><空き店舗を活用して開業した飲食店></p> | | <p><中心商店街の様子></p> | | |




| | | | | | |
|------|--|-----|---|----------|------------------|
| 市町村名 | 八戸市(青森県)【平成25年3月29日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | 231,257人 | |
| 計画期間 | 平成25年4月 ~ 平成30年3月 | | | | |
| 目標指標 | 空き店舗・空き地率 | | | | |
| 基準値 | 19.2% (平成23年) | 目標値 | 13.0% (平成29年) | 実績値 | 10.3% (平成29年) |
| 取組概要 | <p>○特定民間中心市街地経済活力向上事業を活用し、民間事業者により老朽化した2つの空きビルを解体し、平成28年7月に商業・オフィスを有する複合ビルを整備したことにより、空き店舗の解消に繋がったとともに、オフィス機能の入居や八戸市直営の書店「八戸ブックセンター」の開業(平成28年12月)など、中心市街地の空き店舗・空き地率の低下につながった。</p> <p>○八戸市が八戸商工会議所へ委託して行うはちのへ創業・事業承継サポートセンター事業などの実施により、起業や新規出店をしようとする事業者を支援するとともに、空き店舗の改装経費等の一部補助を行い、5年間で16件の新規出店があるなど、空き店舗・空き地の解消に寄与した。</p> <p>○目標は達成したものの、未だ空き店舗・空き地は存在することから、今後も中心商店街空き店舗・空き床解消事業等の支援の充実を図るとともに、商業機能誘致事業などにより、より魅力ある商店街づくりに取り組んでいく。</p> | | | | |
| |  | |  | | |
| | <p><民間事業者により整備された複合ビル></p> | | <p><はちのへ創業・事業承継サポートセンター></p> | | |



| | | | | | |
|------|---|-----|--|-----|---------------------|
| 市町村名 | 久慈市(岩手県)【平成19年5月28日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | | 35,644人 |
| 計画期間 | 平成19年5月 ~ 平成25年3月 | | | | |
| 目標指標 | 年間商品販売額の増加 | | | | |
| 基準値 | 4,460百万円 (平成15年) | 目標値 | 4,800百万円 (平成24年) | 目標値 | 5,112百万円 (平成24年) |
| 取組概要 | <p>○平成20年4月に「やませ土風館(観光交流センターと物産館からなる複合施設)」がオープンし、観光客だけではなく食品や日用品を求める市民によっても賑わっている。</p> <p>○平成23年3月に発生した東日本大震災によって全体的に観光入込が落ち込んだが、最近はNHK連続テレビ小説の舞台になる等、徐々に回復の兆しが見られる。</p> <p>○「やませ土風館」の賑わいが、「成功店モデル創出・波及事業」等の取組みによって周辺の商店街へも波及したことにより、中心市街地における商業の活性化につながった。</p> | | | | |
| |  | |  | | |
| | <p><やませ土風館の様子></p> | | <p><周辺では定期的に市(いち)を開催></p> | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|---------------|-----|---------------|
| 市町村名 | 秋田市(秋田県)【平成20年7月9日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | | 315,374人 |
| 計画期間 | 平成20年7月 ~ 平成26年6月 | | | | |
| 目標指標 | 空き店舗数 | | | | |
| 基準値 | 25店 (平成19年) | 目標値 | 7店 (平成25年) | 実績値 | 5店 (平成25年) |
| 取組概要 | <p>○中心市街地内の空き店舗への入居や新店舗の建築などに要する設備資金の一部について、区域外に出店する場合に比べ利子補給率を0.5%上乘せし、最大2.0%の利子補給付きで融資あっせんを行った。</p> <p>○空き店舗への出店に係る経費(改装費、宣伝広告費、設備リース料、謝金等)の一部を補助したほか、大型商業施設内の空きテナントへの出店に対し、テナント賃借料の一部を補助した。</p> <p>○中通一丁目地区において整備された「エリアなかいち」のオープンによる中心市街地の通行量の増加との相乗効果が得られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>＜地元アーティストグッズ 専門店(空き店舗入居例)＞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>＜中小路カフェ(空き店舗入居例)＞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>＜エリアなかいち＞</p> </div> </div> | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|---|-----|----------------------|
| 市町村名 | 須賀川(福島)【平成26年3月28日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | | 77,441人 |
| 計画期間 | 平成26年4月～平成31年3月 | | | | |
| 目標指標 | 年平均出店者数(中心市街地内9商店会等の過去5年平均新規加入会員数) | | | | |
| 基準値 | 2.2店 (平成20～24年平均) | 目標値 | 3.2店 (平成26～30年平均) | 実績値 | 4.2店 (平成26～30年平均) |
| 取組概要 | <p>○中心市街地商業集積促進補助金事業については、中心市街地活性化ソフト事業を活用し、商店街組織等がエリア内に所在する空き店舗に新規出店者を誘導する場合に家賃及び改修費に対し一部補助を実施することにより、計画期間内に22店舗という期待以上の出店効果を生み出した。</p> <p>○また、多くの来館者数が見込める市民交流センター内に商業スペースを設ける市民交流センター内商業スペース整備事業(テナントミックス事業)において、5店舗分のスペースを整備し、新規出店を促すことにより5店舗の新規出店がされた。チャレンジショップ出店者は、将来的な中心市街地への出店意欲も高く、期間終了後の出店者増が期待される。</p> <p>○今後は、専門家から経理等の基礎知識から収益の核となる事業の見極めといった実務的なことまでアドバイスを受けられるような体制を整えるなど、チャレンジショップ出店者の実店舗出店がスムーズになるような支援を実施する。このように実体験と指導が合わせて行われることの効果と、集客力のある施設でのチャレンジという客付け効果により、将来において中心市街地の核となる店舗となることを期待している。</p> <p>○また、新たなチャレンジショップ出店者を生み出すため、商工会議所や地元金融機関等などと連携し進めている創業支援施策の会議の場における情報共有を行っていくとともに、中心市街地で民間主体により実施されているマルシェ事業の出店者への情報提供を実施していく。</p> | | | | |
| |  | |  | | |
| | ＜チャレンジショップ事業(カフェブース)＞ | | ＜チャレンジショップ事業(物販等ブース)＞ | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|----------------|-----|----------------|
| 市町村名 | 長野市(長野県)【平成24年3月29日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | | 377,598人 |
| 計画期間 | 平成24年4月 ~ 平成29年3月 | | | | |
| 目標指標 | 空き店舗数(中央通り及び権堂アーケード沿いの1階部分) | | | | |
| 基準値 | 29件 (平成23年) | 目標値 | 22件 (平成28年) | 実績値 | 21件 (平成28年) |
| 取組概要 | <p>○中心市街地の1階部分の空き店舗等を活用して出店する事業者に対して、その空き店舗等の改修費等の一部を補助する「空き店舗等活用事業」を実施している。</p> <p>○事業者のニーズ等に応じ、補助対象物件に空き住宅、空き倉庫等を加えるとともに、一定のエリアにおいては補助限度額を引き上げるなど、より効果的な事業となるよう補助制度を見直しながら、当事業に取り組んだ。</p> <p>○当事業を契機として地元の商工団体、商店街団体等との関わりが生まれるなどの効果がある。今後も引き続き、空き店舗等の解消に向けた取組を実施していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="410 922 1036 1339" style="text-align: center;">  <p data-bbox="420 1360 1050 1396"><当事業を活用して出店したフラワーショップ></p> </div> <div data-bbox="1259 929 1891 1336" style="text-align: center;">  <p data-bbox="1307 1360 1858 1396"><当事業を活用して出店したレストラン></p> </div> </div> | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|--|----------|---|
| 市町村名 | 岐阜市(岐阜県)【平成24年9月30日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | 406,735人 | |
| 計画期間 | 平成24年10月 ~ 平成30年3月 | | | | |
| 目標指標 | 新規出店店舗数(柳ヶ瀬地区) | | | | |
| 基準値 | 8.8店舗 (H19~H23の年平均) (平成23年度) | 目標値 | 11店舗 (H24~H29の年平均) (平成29年度) | 実績値 | 12.7店舗 (H24~H29の年平均) (平成29年度) |
| 取組概要 | <p>○「空き店舗対策事業」では、店舗賃借料等の一部を助成、「中心商店街活性化プロデュース事業」では、空き店舗ツアーや専門家による出店希望者相談会を実施したことで、空き店舗への出店に意欲ある事業者を集積することが可能となり、市外からの出店者も含めた新規出店店舗数の増加につながった。</p> <p>○「サンデービルディングマーケット」については、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社(まちづくり会社)と岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会(商店街)が中心となり、手仕事(クラフト)の商品等を扱う店舗を集めたイベントを定期的で開催し、新たな若い層を中心とした固定顧客と実店舗に出店する可能性のある事業者を創出することに取り組んだ。さらに、これらの事業者のための、週末限定の短期出店スペース「ウィークエンドビルディングストアーズ」を、市が支援して商店街が平成27年11月に整備し、実施したことで、遊休化した大型ビルのリノベーションによる活用につながった。</p> <p>○また、大型ビルの遊休化していた区画を若い世代向けのコンテンツ(店舗、サービス、担い手など)が集積する店舗等へリノベーションする事業として、まちづくり会社の実施主体となる「遊休不動産のリノベーション活用事業(ロイヤル40)」を平成28年度から実施したことで、11区画に新たな出店が生まれた。その結果、若い世代が来街するようになったことで、まちの雰囲気の変化を肌で感じ、客足が増えたとの声が聞かれている。</p> <p>○今後は上記事業を更に加速させ、エリアの空間需要を喚起し、新規出店・事業などの投資が起こる持続可能なまちを目指していく。</p> | | | | |
| |  | |  | |  |
| | <サンデービルディングマーケット> | | <ウィークエンドビルディングストアーズ> | | <遊休不動産のリノベーション活用事業> (ロイヤル40) |

| | | | | | |
|------|--|-----|---|-----|----------------|
| 市町村名 | 豊橋市(愛知県)【平成26年3月28日認定】 | | 人口(平成27年国勢調査) | | 374,765人 |
| 計画期間 | 平成26年4月 ~ 平成31年3月 | | | | |
| 目標指標 | 空き店舗数 | | | | |
| 基準値 | 107店 (平成24年) | 目標値 | 90店 (平成30年) | 実績値 | 78店 (平成30年) |
| 取組概要 | <p>○中心市街地活性化ソフト事業を活用した商店街空き店舗対策事業により、情報提供など出店意欲のある事業者を支援し、商店街の魅力低下を防ぐため、空き店舗ツアーにより出店希望者を発掘したり、必要な業種・業態やコミュニティ施設を空き店舗に誘導したりするなど、バランスのとれた魅力ある商店街の再構築を図るとともに、「まちなかインキュベーション&チャレンジング事業」では、まちなかにおいて新規開業を目指す事業者の育成や、短期間のチャレンジ出店に対する補助金交付を行った。</p> <p>○平成28年度には、上記2事業を統合し窓口を一本化することにより、事業者にとって補助制度の活用方法がわかりやすくなり、申請しやすくなったことから、目標を大きく上回る活用実績となり、中心市街地における空き店舗の解消に寄与した。</p> <p>○今後は、空き家・空き店舗ツアーの実施や豊橋まちなか活性化センターとの情報交換により、事業者への速やかな対応をとり、引き続き空き店舗の解消を目指していく。</p> | | | | |
| |  | |  | | |
| | <p><商店街空き店舗対策事業></p> | | <p><商店街空き店舗対策事業></p> | | |